

インタラクション高度化研究

研究代表者	総合情報学部 教授 ノーマン・D. クック
研究概要	<p>情報技術の急速な進歩は、高度な情報機能を備えた様々な人工物を人間に提供してきた。人間がこうした複雑な人工物と知的かつ快適に共生するには、人工物のヒューマンインタフェースが人間との親和性に優れたものでなければならない。特に、コンピュータに代表される情報処理システムでは、人間の認知情報処理特性との親和性が強く求められる。そのようなヒューマンインタフェースの実現には、人間の認知情報処理特性に関する具体的な知見が必要となる。さらに、情報処理システムと人間の神経情報システムとの直接的なインタフェースを実現することによって、人間の知覚・認知機能を部分的に補完あるいは高度化することが可能となる。本プロジェクトユニットでは、こうした人間の認知メカニズムの解明と情報処理システムとしての応用の可能性を視野に入れつつ、人間の優れた知的情報処理の基盤である認知情報処理ならびに神経情報処理機能について探求する。</p>
学内研究員	総合情報学部 教授 加藤 隆 総合情報学部 教授 林 勲 総合情報学部 教授 林 武文 総合情報学部 教授 堀 雅洋 総合情報学部 教授 辻 光宏（平成18年5月31日追加） （※所属・職名はプロジェクト終了時点）
学外共同研究者	関西大学大学院・総合情報学研究科 客員教授 福島 邦彦（平成18年5月31日追加） （※所属・職名はプロジェクト終了時点）
設置期間	平成18年5月1日～平成19年3月31日
設置場所	高槻キャンパス管理・研究棟T A 320（ノーマン・D. クック研究室）